

# 「パルスフィールドアブレーションの際の看護に 関する後ろ向き研究」

心房細動(AF)に対する治療で、近年新たにパルスフィールドアブレーション(PFA)が導入されました。従来は心筋を焼灼する高周波アブレーション(RFA)を使用していましたが、PFAは電気を使用して心房筋を選択的にアブレーションすることで、周囲組織を障害することなく、より安全で迅速な治療が可能となります。しかし、実際にPFA治療で咳嗽反射が出る症例があり、患者様の安全のためにも鎮静や抑制に看護の視点や介助方法の検討を考えています。調査の結果は今後、カテーテル室看護師の質の向上に役立てていきます。

## 【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において 2024年11月から12月の2カ月の間に当院でAFに対しアブレーションを施行した患者様を対象にしています。対象となる患者様の看護記録から、抑制剤使用方法や、薬剤の種類・投与量、鎮静評価などの情報を得て統計学的に解析します。対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。なお、この調査は任意ですので、お断りになっても何ら不利益を被ることはありません。

## 【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、得られた情報は看護研究で使いたいと考えていますが、それ以外に使用することはなく、本研究の結果の公表(学会や論文等)の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。ご協力お願いいたします。

## 【責任者・連絡先】

小倉記念病院 外来1 心カテ室 看護師:林 星羅

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号 電話 093-511-2000(代)